

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統轄室長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 長尾雅司
 (氏名) 十亀 猛

TEL 03-6721-6988

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,881	12.2	962	27.5	926	27.0	512	10.8
27年3月期第2四半期	5,239	3.7	755	3.4	729	0.8	463	4.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 495百万円 (0.3%) 27年3月期第2四半期 494百万円 (8.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	43.58	—
27年3月期第2四半期	39.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	15,188	11,081	73.0	941.29
27年3月期	15,037	10,844	72.1	921.18

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 11,081百万円 27年3月期 10,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	22.00	22.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	7.6	2,050	13.3	2,000	14.5	1,300	27.1	110.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	14,000,000 株	27年3月期	14,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	2,227,672 株	27年3月期	2,227,635 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	11,772,360 株	27年3月期2Q	11,772,473 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信開示時点においては、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きが終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想等の将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では企業業績が拡大し持ち直しの傾向にあるものの、中国など新興国の経済成長減速等、下振れ懸念もあり先行き不透明な状況が続いております。わが国では、企業業績に改善が見られるなど緩やかな回復基調にありますが、輸出や鉱工業生産が新興国経済の減速の影響を受け、横ばいに転じていることなどから、先行きに懸念が生じています。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、お客様の信頼と期待を獲得するため、事業部主導経営への転換を図り、社員一人一人が自分の責任を果たし、品質、スピード、実行にこだわり、グローバルな競争の中で、さまざまなお客様の問題を解決し、お客様からありがとうと感謝される体制作りを進めてまいります。

販売面では、当社グループの主な市場である工作機械、産業機械、建設機械市場におきましては、国内需要が堅調に推移しており、前年同期の売上高を上回る結果となりました。また、半導体、液晶製造装置関連市場におきましても、設備投資が増加傾向にあり、前年同期の売上高を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は58億81百万円（前年同期比12.2%増）となり、営業利益は9億62百万円（前年同期比27.5%増）、経常利益は9億26百万円（前年同期比27.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億12百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

(静岡事業所)

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が順調に伸び、売上高は10億68百万円（前年同期比21.0%増）、セグメント利益は2億35百万円（同62.8%増）となりました。

(岐阜事業所)

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しておりますが、重点市場である建設機械・工作機械市場向けは、底堅い需要に支えられ、売上高は22億79百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は8億11百万円（同0.8%増）となりました。

(山形事業所)

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が堅調に推移しており、売上高は19億39百万円（前年同期比20.0%増）、セグメント利益は5億74百万円（同16.1%増）となりました。

(IPEC岐阜事業所)

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、建設機械関連の受注が堅調に推移しており、売上高は6億74百万円（前年同期比11.4%増）、セグメント利益は1億52百万円（同27.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローで5億7百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで4億円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで2億32百万円のマイナスとなりました。この結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より1億35百万円減少し34億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は5億7百万円（前年同期は9億43百万円のプラス）でありました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上8億30百万円、退職給付に係る負債の減少による64百万円の減少、たな卸資産の増加による1億21百万円の減少、未払金の減少による71百万円の減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は4億円（前年同期は6億75百万円の支出）となりました。この主な要因は有形固定資産の取得による3億65百万円、無形固定資産の取得による29百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は2億32百万円（前年同期は4億60百万円の支出）でありました。この主な要因は、長期借入金の収入による1億90百万円、長期借入金の返済による1億82百万円、配当金の支払いによる2億25百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,537	3,402
受取手形及び売掛金	3,710	3,689
商品及び製品	330	342
仕掛品	374	427
原材料及び貯蔵品	796	852
繰延税金資産	73	151
その他	152	171
流動資産合計	8,976	9,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,434	1,565
機械装置及び運搬具（純額）	490	599
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	104	82
その他（純額）	42	62
有形固定資産合計	3,493	3,730
無形固定資産	104	125
投資その他の資産		
投資有価証券	1,914	1,758
長期貸付金	1	1
関係会社長期貸付金	28	21
生命保険積立金	69	73
繰延税金資産	408	399
その他	41	41
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,463	2,294
固定資産合計	6,061	6,150
資産合計	15,037	15,188

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	533	516
短期借入金	363	367
未払金	275	207
未払法人税等	374	389
役員賞与引当金	27	—
賞与引当金	—	203
その他	216	79
流動負債合計	1,791	1,765
固定負債		
長期借入金	545	534
退職給付に係る負債	1,449	1,384
役員退職慰労引当金	194	209
資産除去債務	54	55
長期預り保証金	157	158
固定負債合計	2,402	2,341
負債合計	4,193	4,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	10,171	10,425
自己株式	△1,674	△1,674
株主資本合計	10,679	10,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	73
為替換算調整勘定	69	74
その他の包括利益累計額合計	164	147
純資産合計	10,844	11,081
負債純資産合計	15,037	15,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,239	5,881
売上原価	3,647	4,043
売上総利益	1,592	1,837
販売費及び一般管理費	837	874
営業利益	755	962
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	17
為替差益	15	—
その他	8	3
営業外収益合計	31	20
営業外費用		
支払利息	5	4
売上債権売却損	2	1
複合金融商品評価損	0	1
持分法による投資損失	39	42
その他	8	6
営業外費用合計	56	56
経常利益	729	926
特別損失		
投資有価証券評価損	—	96
特別損失合計	—	96
税金等調整前四半期純利益	729	830
法人税、住民税及び事業税	365	376
法人税等調整額	△98	△58
法人税等合計	266	317
四半期純利益	463	512
親会社株主に帰属する四半期純利益	463	512

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	463	512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	4
その他の包括利益合計	31	△17
四半期包括利益	494	495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494	495

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	729	830
減価償却費	122	137
持分法による投資損益(△は益)	39	42
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	41	△64
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1	14
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	218	203
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	96
複合金融商品評価損益(△は益)	0	1
受取利息及び受取配当金	△7	△17
支払利息	5	4
為替差損益(△は益)	△11	9
売上債権の増減額(△は増加)	247	21
たな卸資産の増減額(△は増加)	7	△121
仕入債務の増減額(△は減少)	16	△16
未払消費税等の増減額(△は減少)	27	△123
未払金の増減額(△は減少)	△54	△71
その他	△19	△59
小計	1,339	858
利息及び配当金の受取額	7	17
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△398	△364
営業活動によるキャッシュ・フロー	943	507
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99	△365
無形固定資産の取得による支出	△10	△29
投資有価証券の取得による支出	△562	△3
保険積立金の積立による支出	△3	△3
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△675	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1	△15
長期借入れによる収入	—	190
長期借入金の返済による支出	△174	△182
社債の償還による支出	△50	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△234	△225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△460	△232
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△180	△135
現金及び現金同等物の期首残高	3,717	3,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,537	3,402

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	882	2,108	1,536	605	5,133	105	5,239
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	44	78	—	124	—	124
計	883	2,153	1,615	605	5,257	105	5,363
セグメント利益	144	805	494	119	1,564	33	1,597

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上、及び不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,564
「その他」の区分の利益	33
セグメント間取引消去	△18
全社費用(注)	△810
棚卸資産の調整額	△13
四半期連結損益計算書の営業利益	755

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,068	2,240	1,797	671	5,777	103	5,881
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	39	141	3	184	—	184
計	1,068	2,279	1,939	674	5,961	103	6,065
セグメント利益	235	811	574	152	1,774	39	1,813

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上、及び不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,774
「その他」の区分の利益	39
セグメント間取引消去	△27
全社費用（注）	△826
棚卸資産の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	962

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。